



論文発表が行われたアジア太平洋地域防錆学会国際会議

教育機関や一般の建築物の配管腐食について磁気を利用した新技術で防錆学会国際会議で、NM

止する機器を製造・販売している日本システム企画株式会社（本社・東京都渋谷区）は、十一月十六日から二十一日まで大阪大学コンベンションセ

## 配管腐食防止の技術で反響

### 国際防錆会議で研究論文

発表

又画  
シ企  
本ム  
日テ

表し大きな反響を呼んだ。水道管や空調用の配管は経年変化により十年か

ら二十年で腐食が進行し、酸化した配管の内側に発生する錆が溶出する

た技術は医療機器で確立した技術となつている

水質を改善することが可能となるため、経費や施工日数を大幅に削減することができる。

「磁気共鳴」(MR)を応用して配管の回りに配置した磁気発生装置から波長の短い電磁波を配管内部の水に照射し、水の内部を研磨した後に樹脂素核を振動させることにより不純物が多いため腐食の進行が早いという問題を抱えており、各国が防錆技術の研究に腐心していたこともあって今回の発表はアジアの国々にとって朗報となろう。

換するといふもので、装置を既設の配管の適切な場所に取り付けるだけで化学的な分野での論文発表に引き続き、物理学の分野でも学術的認知を得るべく大学などの共同研究を続行する予定。

があるが、どちらも断水や経費について大きな問題を抱えていた。今回の会議で発表された技術は医療機器で確立した技術となつている水質を改善することが可能となるため、経費や施工日数を大幅に削減することができる。